E769Z464H20

保管用

DAIKO
大光電機株式会社

対応コントローラ	
スタンダード　センサ有	LZA-92087 LZA-92088

大光省エネ照明自動調光システム

ワイヤレスリモコン
形名　LZA-92089

取扱説明書

このたびは大光 双方向ワイヤレスリモコンをお買い上げいただきありがとうございました。

- 本書は大光 双方向ワイヤレスリモコン LZA-92089 をコントローラと組み合わせた場合の取扱いについて記載しております。よくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設、修理の時は工事される方に、またお使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。
- 無線 LAN ユニットを使用した通信機能や、色温度設定機能につきましては、本機の機能として表示されますが、対応したコントローラ・照明器具は現在取扱いしておりません。

この紙は再生紙を使用しています。

はじめに　＊必ず読んでください。

はじめに

1 基本動作 ..... 2 ページ
2 安全のために必ず守ること ..... 3 ページ
3 使用上のご注意..... 3 ページ

設定の準備　＊必ず行ってください。

設定の準備

4 各部のなまえ..... 4 ページ
5 電池の入れ方..... 4 ページ
6 コントローラの LED 表示 ..... 5 ページ
7 ブザー音・エラーについて ..... 5 ページ
8 動作モードの優先順位 ..... 5 ページ
9 画面構成 ..... 6 ページ
１０ ボタン操作について ..... 7 ページ
１１ 設定できる項目..... 8 ページ
１２ リモコンのリセット..... 10 ページ
１３ コントローラのリセット ..... 10 ページ
１４ 調光信号線の接続確認 ..... 10 ページ

基本操作編

双方向リモコンによる操作・モニタ機能

１５ 点灯、消灯、調光、シーンの操作 .. 10 ページ
１６ 運転モードおよび調光率モニタ ..... 11 ページ
１７ 省エネ率および現在の電力値をモニタ 11 ページ
１８ リモコンの日付・曜日・時刻の設定 11 ページ

簡単設定編　＊必ず行ってください。

照度センサの設定

１９ 照度センサの感度設定 ..... 11 ページ

センサ補正の設定

２０ センサ補正の設定..... 12 ページ

調光出力モードの設定

２１ 調光出力モードの設定 ..... 12 ページ

設定データ読込み/書込み

２２ 設定データの一括読込み ..... 13 ページ
２３ 設定データの一括書込み ..... 13 ページ

終了

応用操作編　＊必要に応じて行ってください。

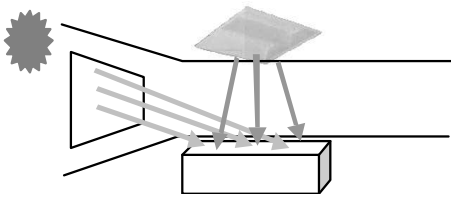
通常動作・シーン動作の設定	２４	照度センサの動作確認	13 ページ
	２５	照度一定制御運転の設定	14 ページ
	２６	消灯制御の設定	14 ページ
初期照度補正タイマー制御の設定	２７	初期照度補正タイマーの設定	14 ページ
シーン設定	２８	シーンの設定	15 ページ
	２９	登録されたシーンを再現	16 ページ
	３０	フェード時間の設定	16 ページ
不在制御の設定（人感センサタイプのみ）	３１	不在制御の設定	17 ページ
	３２	昼間在検知で点灯しない設定	18 ページ
接点入力の設定	３３	接点入力でシーンを再現する	18 ページ
接点出力の設定	３４	シーン実行状態を接点出力する	19 ページ
	３５	消灯/点灯状態を接点出力する	19 ページ
	３６	在/不在状態を接点出力する	19 ページ
	３７	明/暗状態を接点出力する	20 ページ
	３８	換気扇連動制御を接点出力する	20 ページ
リモコンの設定	３９	バックライト点灯時間を切替える	20 ページ
	４０	操作・設定機能をロックする	20 ページ
おわりに	４１	仕様	21 ページ
	４２	保証とアフターサービス	21 ページ

はじめに

1　基本動作

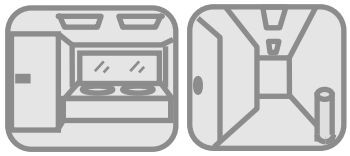
照度センサ機能　LZA-92087 / LZA-92088

- 照度センサにより、昼光の分とランプ交換後の明るすぎる分の照明器具の明るさを絞り、一定の照度に保つよう自動コントロールを行います。
- 設定により、昼間明るいときは消灯することができます。点滅の頻度を抑えるため、点灯照度と消灯照度の差の大小を設定できます
- 設定により、昼光状態を接点信号で出力します。



人感センサ機能　LZA-92088

- 人感センサにより、不在時は減光または消灯します。
- 設定により、昼光だけで目標照度が得られていれば、人を検知しても再始動（点灯）しないようにできます。
- 在不在状態を接点信号で出力し、換気扇など他設備と連動できます。



2 安全のために必ず守ること

● ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

● 表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、直ちにアルカリ乾電池を抜き、煙が出なくなるのを確認してお近くのサービス窓口にご連絡ください。

● 本文中の“図記号”の意味は次のようになっています。

🛇 「禁止」を表します。　❗「必ずしてほしい行為」を表します。

⚠注意	
🛇 禁止	乾電池の(＋)、(－)を逆に入れたり、古い電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。 (けが・故障の原因となることがあります。)
	乾電池をショートさせたり、分解・加熱または充電しない。 (液漏れ、破損、発熱によりけが・故障の原因となることがあります。)
	乾電池に表示している「使用推奨期間」を過ぎたり、使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしない。 （漏れによる故障の原因となることがあります。） 長時間使用しない場合は、リモコンから乾電池を外してください。
❗ 厳守	乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受ける。

3 使用上のご注意

● 施工後のご確認事項

- コントローラと照明器具が調光信号線で確実に接続されているか確認してください。
- ワイヤレスリモコンの 自動・点灯、消灯、△ または▽ ボタンを押して調光範囲が適切であるか確認してください。

  P10 14 調光信号線の接続確認を参照ください。
- コントローラは、接続できる照明器具台数が制限されています。コントローラの取扱説明書を参照し、照明器具の接続台数が適切であることを確認してください。

● 設定時のご確認事項

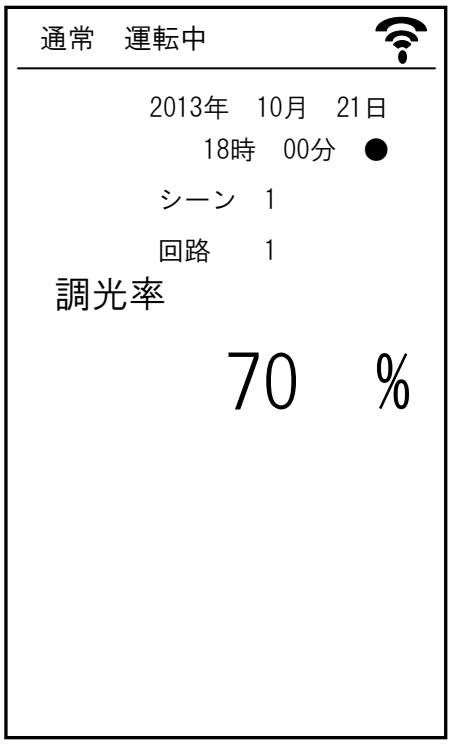
- 設定操作を行う場合は、照明器具が点灯していることを確認してください。
- コントローラ設置工事直後及び、レイアウト変更など照明環境を変更された場合は、必ず P11 19 照度センサの感度設定を実施してください。

● ワイヤレスリモコンの送受信範囲

- ワイヤレスリモコンの信号送・受信可能距離は、5m 以内です。また、ワイヤレスリモコンの送信角度は、10°以内です。(操作対象機器の真下での操作をおすすめします。) リモコンの液晶画面がうすくなったり、操作が効きにくくなった時には、お早めに乾電池を交換してください。 リモコンの送受信部を照明器具に近づけすぎると受信しにくい場合があります。

4 各部のなまえ

3.5 インチ液晶画面



※上記画面は調光出力モード
「個別制御」時の画面です。

リモコン本体

●消灯ボタン
消灯を実行します。

●切替ボタン
シーンおよび操作範囲を切替えます。

●左右(＋－)ボタン
項目選択を操作します。

●送信・受信ボタン
設定内容を送受信します。

●自動・点灯ボタン
通常運転の点灯を実行します。

●実行ボタン
選択されたシーンを実行します。

●上下(＋－)ボタン
項目選択、数値選択および調光率を操作します。

●決定ボタン
選択内容を決定します。

●戻るボタン
1 つ上の画面に戻ります。

●メニューボタン
メニュー画面に戻ります。
ダブルクリックでスケジュール実行画面を開きます。

5 電池の入れ方

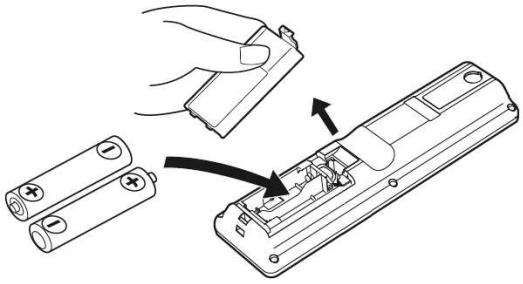
① 本体裏側の電池カバーを開けます。

② 単三形アルカリ乾電池(LR6)の＋－極性を確認し、確実に 2 本入れます。

③ [リセットボタン]を押します。

④ リセットボタンを押すと、液晶画面表示が時刻設定画面になります。

⑤ 本体電池カバーを確実に閉めます。



6 コントローラの LED 表示

設定操作において確認するランプは、運転状態 LED（赤）・回路状態 LED（黄）・人感状態 LED（緑）です。

運転状態 LED（赤）の表示	動作状態
消灯	未通電状態
点灯	自動運転
点滅（1 秒おき）	マニュアル運転
間欠点滅（2 秒点灯、1 秒消灯）	スケジュール運転
点滅（0.1 秒おき）	設定操作中
点滅（0.1 秒点灯、0.1 秒消灯、0.1 秒点灯、0.7 秒消灯）	メモリ異常

回路状態 LED（黄）の表示	動作状態
消灯	正常
点滅（1 秒おき）	ランプ異常（設定照度率に満たない場合）
点滅（0.1 秒おき）	ゲイン設定エラー（自動調光の範囲を超えています。）
点灯	出力（調光信号出力）が短絡しています。

運転状態 LED は、リモコンの信号を正常に受信した場合に、点滅します。

人感状態 LED（緑）の表示	動作状態
消灯	不在検知状態
点灯	在検知状態

7 ブザー音・エラーについて

リモコン操作を行ったとき、コントローラが発するブザー音は以下の意味を持ちます。

ブザー音	意味	
「ピッ」	受信音	リモコンで 自動・点灯 △ ▽ 消灯 「シーン」「スケジュール」または 送信 ボタンを押し、信号を受信したとき。
「ピピ」	送信音	リモコンで 受信 ボタンを押し、リモコンに信号を送信したとき。（＊）
「ピピ－」	リミッター音	リモコンで △ ▽ ボタンを押し、調光率が上限または下限に達したとき。

（＊）「ピピ」とコントローラの送信音が鳴っても、リモコンが受信できなかった場合は、右端に「(!)」が表示されます。コントローラに向け、再度 受信 ボタンを押してください。

8 動作モードの優先順位

複数の入力が重なって起こった場合、コントローラは以下の優先順位にしたがって動作します。

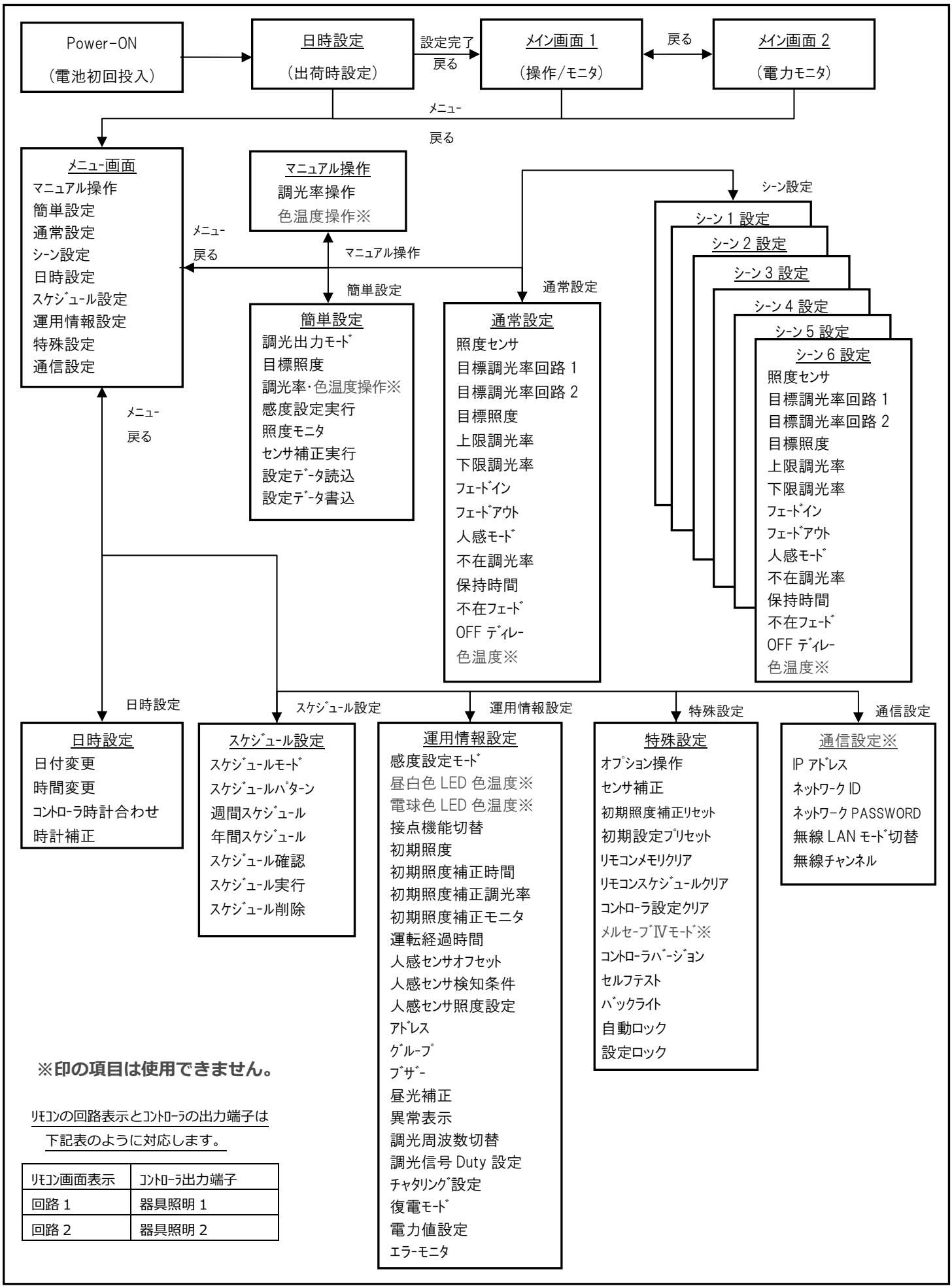
優先順位	動作モード
1	リモコン操作
2	調光器
3	接点 2 入力
4	接点 1 入力
5	通常運転、スケジュール運転

人感センサの不在制御は、設定により優先順位 3～5 で運用可能です。

（例：シーン 2 に不在制御を設定した場合は接点 2 入力より不在制御の方が優先、シーン 1 に不在制御を設定した場合は不在制御より接点 2 入力の方が優先。）

9 画面構成

本機は、下記の画面構成となります。



※印の項目は使用できません。

リモコンの回路表示とコントローラの出力端子は
下記表のように対応します。

リモコン画面表示	コントローラ出力端子
回路 1	器具照明 1
回路 2	器具照明 2

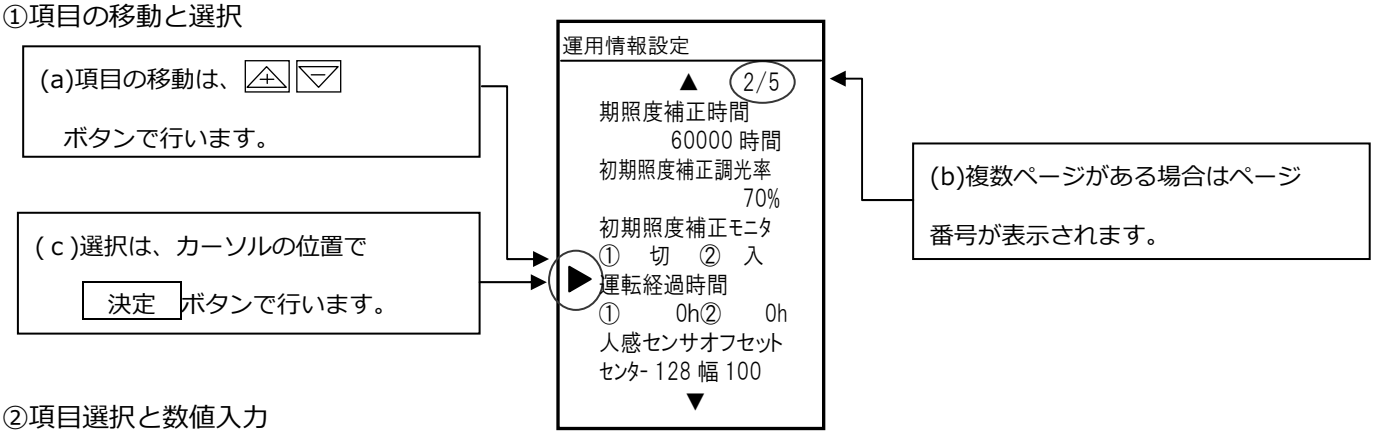
１０　ボタン操作について

（１）操作画面では、手順を少なくし、簡単に操作できるボタン構成としています。

	1 回押(シングルクリック)	連続 2 回押(ダブルクリック)
自動・点灯	通常モードの「自動点灯」が実行します。	フェード無で実行します。
消灯	通常モードの「消灯」が実行します。	－
実行	選択されているシーンが実行します。	フェード無で実行します。
△ ▽	明るさをアップ、ダウンします。	－
◁ ▷	項目選択を操作します。	－
切替	シーンを切替えます。	制御範囲選択画面に切替えます
メニュー	メニュー画面に切替えます。	スケジュール実行画面に切替えます。

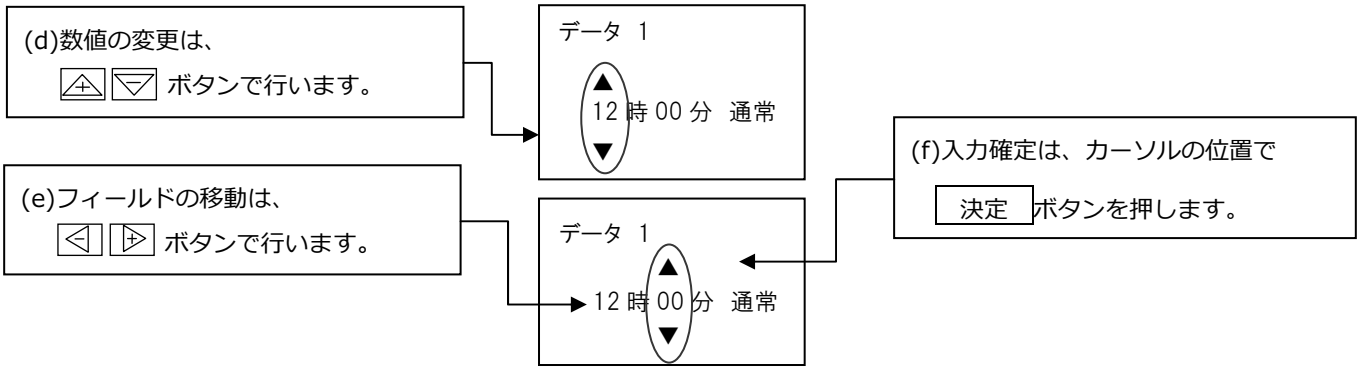
（２）設定画面では、メニュー形式で構成され、数値の変更およびモニタを行います。

①項目の移動と選択

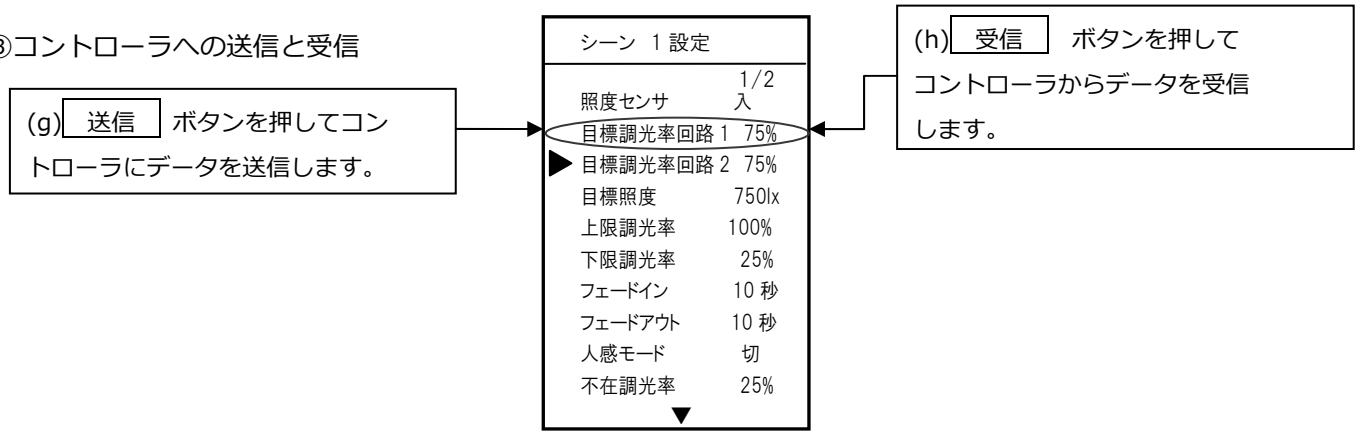


②項目選択と数値入力

（ｃ）の 決定 ボタン操作でポップアップ画面が表示され、項目の選択または数値の入力を行います。



③コントローラへの送信と受信



１１　設定できる項目

機器において設定できる項目一覧を下表に示します。
リモコンおよびコントローラをリセットすると、設定はそれぞれ表 1.1　出荷時設定の内容になります。

表 1.1　出荷時設定

項目	内容	設定の範囲	出荷時設定		
簡単設定	調光出力モード	個別制御　タイマー制御　回路 1　入/切 回路 2　入/切 バランス制御、　バランス率　0～100% 色温度制御※ 昼光センサ制御　回路 1 変化量 0～2550 回路 2 変化量 0～2550	切 入 100% 0 0		
	目標照度	0～5,000 lx（10 lx 単位）	5,000 lx		
	調光率	0、5～100%（1%単位）	50%		
	色温度※	—	—		
	感度設定実行	—	—		
	センサ補正	—	—		
通常 シーン ７つ（通常+6 シーン）の運転モードに対しそれぞれ独立に内容を設定できます	照度センサ	入/切	入		
			通常	ｼｰﾝ 1	ｼｰﾝ 2～6
	目標調光率回路 1	0、5～100%（1%単位）	50%	75%	10%
	目標調光率回路 2	0、5～100%（1%単位）	50%	75%	10%
	目標照度	0～5,000 lx（10 lx 単位）	500 lx	750 lx	100 lx
	上限調光率	0、5～100%（1%単位）	71%	100%	15%
	下限調光率	0、5～100%（1%単位）	25%	25%	5%
	フェードイン	0～255 秒　（100%変化当たり）	10 秒		
	フェーアウト	0～255 秒　（100%変化当たり）	10 秒		
	人感制御モード	人感切 /通常ﾊﾟﾀｰﾝ/省ｴﾈﾊﾟﾀｰﾝ/残置ﾊﾟﾀｰﾝ	人感切 （不在制御なし）		
	不在調光率	0、5～100%（1%単位）	25%		
	不在検知時明るさ保持時間	0～2550 秒　（10 秒単位）	300 秒（5 分）		
	不在検知時のフェード時間	0～255 秒（調光率 100%変化に要する時間） 在検知時のフェード時間は約 0 秒固定	10 秒		
	不在検知時消灯ディレー時間	0～2550 秒　（10 秒単位）	300 秒（5 分）		
	色温度※	—	—		
日時設定	現在の日付、曜日･時刻	年月日　　日～土、 0:00～23:59（1 分単位）	2013 年 10 月 21 日 0 時 0 分　月曜日		
	時計補正	-63～63ppm	0		
スケジュール設定※	スケジュールパターン	スケジュールパターン 1～4 に、各 10 ステップまでシーンの実施時刻を設定 時刻　0:00～23:59（1 分単位） シーン番号　1～6	設定なし 「－」表示		
	週間スケジュール	日・月・火・水・木・金・土のそれぞれに対して、スケジュールパターン 1～4 を設定			
	年間スケジュール	指定日に対して、スケジュールパターン 1～4 を設定（最大 30 日分）	設定なし「－」表示		
	スケジュール実行/停止	実行/停止	停止		
運用情報設定	感度設定モード	簡単／自動	簡単		
	昼白色 LED 色温度・光出力※	—	—		
	電球色 LED 色温度・光出力※	—	—		

※印の項目は使用できません。

	接点機能切替	入力（シーン連動）／入力（スケジュール連動） 出力（シーン連動）／出力（点灯/消灯連動） 出力（人感センサ連動 在不在状態） 出力（照度センサ連動 明暗状態） 出力（換気扇連動）	入力(シーン連動)
	初期照度	0～5,000 lx	1,000 lx
	初期照度補正時間	5、000～100,000 時間	60,000 時間
	初期照度補正調光率	0～100%	70%
	初期照度補正モニタ	①入/切、②入/切	①切、②入
	運転経過時間	①0～100,000 時間、②0～100,000 時間	①0 時間、②0 時間
	人感センサオフセット	センタ：0～255　幅：0～255	128、100
	人感センサ検知条件	0～1,000ms　1～5 回	350ms、2 回
	人感センサ照度設定	10～5,000lx、切	切
	アドレス※	—	—
	グループ※	—	—
	ブザー音	入/切	入
	昼光補正	0～100%	100%
	異常表示	入/切	入
	調光周波数切替	100Hz/1KHz	1KHz
	調光信号 Duty 設定	0～100%	90%
	チャタリング設定	0～100%	25%
	復電モード	最終状態/自動	最終状態
	電力値設定	①：0～10,000W、②：0～10,000W	①1,000W、②1,000W
特殊操作	オプション操作	AEE590265,AEE590266 のオプション操作 0～99	0
	センサ補正	切/手動/自動	切
	センサ電圧	ゲイン 1～4　設定センサ値 0～255	0、0
	初期照度補正リセット	初期照度補正をリセット	—
	初期設定プリセット	工場出荷値/設定値	工場出荷値
	リモコンメモリクリア	リモコンメモリをクリア	—
	リモコンスケジュールクリア	リモコンスケジュールをクリア	—
	コントローラ設定クリア	コントローラ設定をクリア	—
	メルセーブⅣモード※	入/切	切
	セルフテスト	セルフテストを実行	—
	バックライト	切、入 10,20,30,60	入　30 秒
	自動ロック	0～9	0000(設定なし)
	設定ロック	0～9	0000(設定なし)
通信設定※	IP アドレス	192.168.0～255.1～253	192.168.101.1
	ネットワーク ID	1～9、A～Z の 4 桁	(MILIE)0123
	ネットワークパスワード	1～9、A～Z の 4 桁	(MILCO)1234
	無線 LAN モード切替	アクセスポイントモード /インフラストラクチャーモード	アクセスポイントモード
	無線チャンネル	1～13	6

※印の項目は使用できません。

ﾘﾓｺﾝの回路表示とｺﾝﾄﾛｰﾗの出力端子は下記の表のように対応します。

ﾘﾓｺﾝ画面表示	ｺﾝﾄﾛｰﾗ出力端子
回路 1	器具照明 1
回路 2	器具照明 2

１２ リモコンのリセット（初期化）

アルカリ乾電池を入れ替えた後は､必ずリセットボタンを押して下さい。以前に設定をした場合、そのデータがリモコンに登録されています。この操作により、データを工場出荷状態に戻します。

１３ コントローラのリセット（初期化）

本操作により、 データを工場出荷状態に戻します。

① メニュー ボタンを操作し、メニュー画面を開きます。

② 特殊操作画面より「コントローラ設定クリア」を選択し、 決定 ボタンを操作します。

③ リモコンをコントローラに向けて「はい」を選択し、 決定 ボタンを操作すると、コントローラの設定状態が工場出荷時の状態に戻ります。

④ 特殊操作画面の「初期設定プリセット」にて、「設定値」を選択してコントローラに送信した場合には、その時の設定状態を記憶し、その後に①～③の操作を実施した時に、記憶した設定状態に戻すことができます。

１４ 調光信号線の接続確認

LZA-92087 / LZA-92088 必須

この操作により、コントローラと調光制御する照明器具の信号配線が、正常に施工されているかどうかの確認をします。設置直後は、コントローラの運転状態 LED（赤）が遅い点滅をしています。

① リモコンをコントローラに向けて 自動・点灯 ボタンを押して下さい。コントローラのブザーが「ピッ」と鳴り、自動（通常）モードで運転します。コントローラの運転状態 LED（赤）は点灯状態となります。

② リモコンをコントローラに向けて 消灯 ボタンを押して調光制御対象の照明器具が消灯することを確認します。コントローラの運転状態 LED(赤)は点滅状態となります。照明器具の明るさが変化しない場合は、調光信号線の結線を確認して再度①～②の操作を繰り返してください。

基本操作編

１５ 点灯、消灯、調光、シーンの操作

LZA-92087 / LZA-92088 必須

（1）自動運転で点灯する

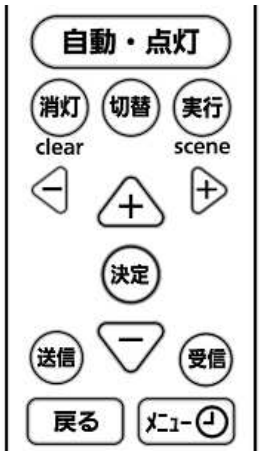
本機をコントローラに向けて 自動・点灯 ボタンを操作すると、通常モードの目標照度で点灯します。照度センサ「切」の場合は、目標調光率で点灯します。

（2）消灯する

本機をコントローラに向けて 消灯 ボタンを操作すると、消灯します。

（3）調光（明るさをアップダウン）

本機をコントローラに向けて、 △ ▽ ボタン操作で調光率を１ステップづつ変化します。2 秒以上連続操作で調光率を 5 ステップづつ変化します。
△ ▽ ボタンでは液晶画面に調光率が表示されませんので、調光率を確認するには、 受信 ボタンを操作してください。



（4）シーン操作する

切替 ボタンを操作し、実施したいシーン番号を選択します。次に本機をコントローラに向けて 実行 ボタンを操作するとシーンが実行できます。

１６　運転モードおよび調光率モニタ

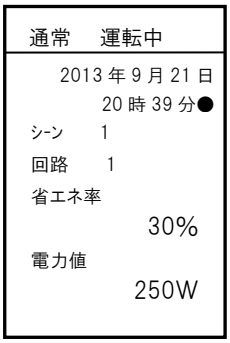
LZA-92087 / LZA-92088　必須

① 左記の操作画面より、受信ボタンを操作します。

② 運転モード（通常・シーン・マニュアル）の状態と調光率が表示されます。

１７　省エネ率および現在の電力値をモニタ

LZA-92087 / LZA-92088　必須



① 上記操作画面より、戻るボタンを操作すると電力モニタ画面に切替わり、受信ボタンを操作すると、省エネ率および現在の電力値が表示されます。電力値は、運用情報設定の電力値設定画面で最大電力値の入力が必要です。

② 再度戻るボタンを操作すると、上記操作画面に切替わります。

１８　リモコンの日付・曜日・時刻の設定

リモコン機能

リモコンの電池交換およびリセットスイッチを操作した時、リモコン内蔵時計がリセットされます。よって内蔵時計を現在の日付・時刻合わせ操作を行ってください。

① 日時設定画面で、「日付変更」を選択します。
ポップアップ画面を開き、△▽ボタンを操作し、「日付/曜日」を選択し、決定ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。

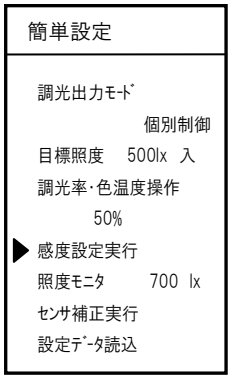
② 日時設定画面で、「時間変更」を選択します。
ポップアップ画面を開き、△▽ボタンを操作し、「時/分/秒」を設定します。
時計を確認しながら、00 秒になった時点で決定ボタンを押すとポップアップ画面が閉じ、時計のカウントが開始されます。

簡単設定編

１９　照度センサの感度設定

LZA-92087 / LZA-92088　必須

この操作により照度センサの感度調整が行われ、自動的に適正照度を保ちます。
コントローラは、照度変化に対するセンサの感度を床・机上面の反射率に合わせて調整します。



「簡単設定の場合」運転したい明るさに調光率を操作し、その時の明るさを目標の照度として運転します。

① 設定したい明るさを「目標照度」として入力し、センサを「入」に設定します。

② 照度計を見ながら必要な明るさになる様に、調光率を操作します。

③ 本機をコントローラに向けて「感度設定実行」を選択し、決定ボタンを操作し、感度設定を実行します。正常に終了するとブザーが「ピッ」となります。

④「照度モニタ」を選択し、受信ボタンを操作し、照度が目標照度と一致している事を確認ください。

＊感度設定は実際に使用される環境で行って下さい。
＊コントローラ設置直後や、レイアウト変更などをした場合は、必ずこの設定を行って下さい。
＊感度設定を行う場合は、昼光の影響がない夜間が確実ですが、昼間に実施する場合は、ブラインドを閉めて直射光が検知範囲に入らない様に行ってください。
＊コントローラの回路状態 LED（黄）が早い点滅になった場合は設定エラーです。
配線確認、照度センサ部分に遮光シールを貼るなど、問題を解決してから再度、設定をやり直して下さい。

感度設定には、「簡単設定」モードと「自動設定」モードの 2 つがありデフォルトは「簡単設定」になります。
「簡単設定」「自動設定」の切替は、「運用情報設定」画面の「感度設定モード」で切替えてください。

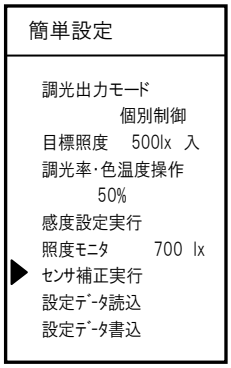
「自動設定の場合」　100%調光出力時の明るさを初期照度とし、初期照度の 70%で自動的に運転します。

① 設定したい明るさを「目標照度」として入力します。

② 本機をコントローラに向けて「感度設定実行」を選択し、決定ボタンを操作し、感度設定を実行します。
調光率 100%→25%で点灯し、正常に終了するとブザーが「ピッ」となります。

２０ センサ補正の設定

LZA-92087 / LZA-92088　必須



レイアウト変更等の環境変化により照度センサの基準がずれた場合、センサを補正します。
この操作により、照度センサの感度の再調整が行われます。「センサの補正実行」は、昼光などの外乱光の無い夜間に実施ください。

外乱光があると正確に補正が行われず、目標の明るさになりません。

① 簡単設定画面で、△＋ ▽－ ボタンを操作し「センサ補正実行」を選択します。

② 反機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、補正が完了します。

２１ 調光出力モードの設定

LZA-92087 / LZA-92088　必須

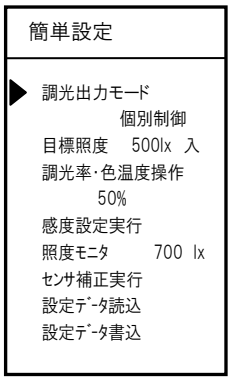
調光出力モードとして 2 つの出力を組合わせた機能があります。

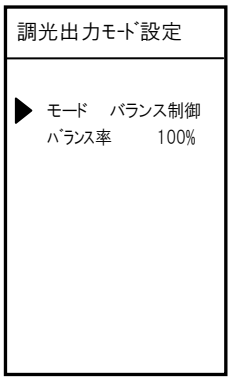
・個別制御　各回路毎にタイマー「入」にする事により、運転時間により出力を変化させるタイマー制御で動作します。また、照度センサ「入」にする事により、回路 1 を本体の照度センサでの検知量に応じて調光率を制御します。またタイマー「切」にすることにより、回路 2 は指定された調光率で制御します。

・バランス制御　本体の照度センサの検知量に応じて、回路 1 および回路 2 をバランス率に応じて調光率を制御します。

・色温度制御　この項目は使用できません。

・昼光センサ制御　太陽光の明るさを検出し、検出された昼光量に応じて回路 1 と回路 2 を減光する制御を行います。





① 簡単設定画面より、「調光出力モード」を選択し、調光出力モード画面を開きます。

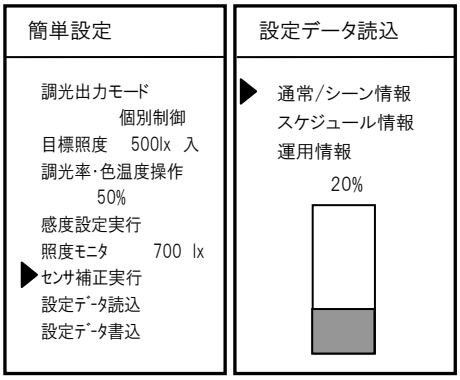
② 「モード」を選択し、ポップアップ画面を開き、4 つのモードのいずれかを選択し、決定ボタンを操作します。
△＋ ▽－ ボタン操作で、個別制御→バランス制御→色温度制御→昼光センサ制御の順で切替わります。
個別制御の場合、回路 1 と回路 2 のタイマー制御の「入/切」、バランス制御の場合「バランス率」の設定、昼光センサ制御の場合は回路 1 と回路 2 の変化量を設定ください。

③ 本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

２２ 設定データの一括読込み

LZA-92087 / LZA-92088　必須

設定データを、「通常/シーン情報」、「スケジュール情報」、「運用情報」3 つのブロックに分けて一括読込みができます。読込み中の数秒間は、本機をコントローラに向けたままにしてください。



① 簡単設定画面より、「設定データ読込」を選択し、設定データ読込画面を開きます。

② 「通常/シーン情報」を選択し、本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押します。

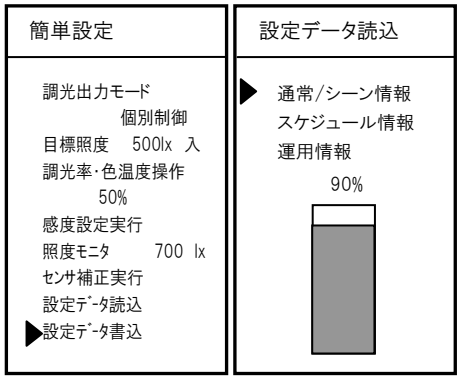
③ コントローラが「ピッ」と鳴ると通常/シーン情報の読込みが開始され、100%」表示になり、コントローラが「ピッ」と鳴ると読込みが完了です。
読込みが失敗した場合は、⚠マークが表示されますので、再度読み込みを実施ください。

④ 同じく、「スケジュール情報」または「運用情報」の読込みを行う場合は、①から③を実行ください。

２３ 設定データの一括書込み

LZA-92087 / LZA-92088　必須

設定データを、「通常/シーン情報」、「スケジュール情報」、「運用情報」3 つのブロックに分けて一括書込みができます。書込み中の数秒間は、本機をコントローラに向けたままにしてください。



① 簡単設定画面より、「設定データ書込」を選択し、設定データ書込画面を開きます。

② 「通常/シーン情報」を選択し、本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押します。

③ コントローラが「ピッ」と鳴ると通常/シーン情報の書込みが開始され、「100%」表示になり、コントローラが「ピッ」と鳴ると書込みが完了です。

④ 同じく、「スケジュール情報」または「運用情報」の読込みを行う場合は、①から③を実行ください。

応用操作編

２４ 照度センサの動作確認

LZA-92087 / LZA-92088　応用

照度センサの動作確認の方法を示します。

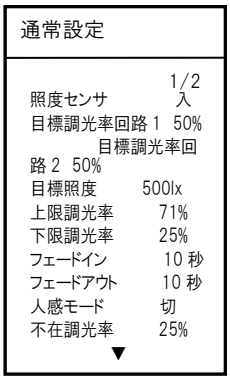
1	p.10 14 調光信号線の接続確認　を行います。
2	p.11 19 照度センサの感度設定　を行います。
3	コントローラの回路状態 LED(黄)の点灯・点滅（ランプ異常）が無い事を確認します。 （p.5 6 コントローラの LED 表示　参照）
4	調光率一定制御運転の設定（「照度切」の状態）をしていないことを確認します。 （p.14 25 照度一定制御運転の設定　参照）　　工場出荷時「照度入」
5	自動調光状態で照度センサの受光部を手などで覆い、対応する回路の照明器具が明るくなることを確認します。
6	懐中電灯で受光部を照らし、対応する回路の照明器具が暗くなることを確認します。

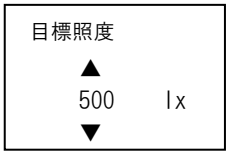
２５ 照度一定制御運転の設定

LZA-92087 / LZA-92088 応用

通常、シーン 1～6 では、照度センサの検知量に応じて、自動的に出力を変化させ、目標照度になる様に制御します。コントローラの導入初期およびレイアウト変更時に実施します。

19 照度センサの感度設定が済んでいて、工場出荷時の明るさ（50%）で使用する場合、この設定は必要ありません。ここでは、通常時の照度一定制御運転の設定(目標照度 500lx、センサ入、上限調光率 80%、下限調光率 20%)について説明します。





① 通常設定画面より、「目標照度」を選択します。

② 下記のポップアップ画面が開き、△ ▽ ボタンを操作し、500lx に設定します。 決定 ボタンを操作すると、ポップアップ画面が閉じ、入力値が確定します。

③ 次に「照度センサ」を選択し、ポップアップ画面より「入」を選択し、 決定 ボタン操作でポップアップ画面を閉じます。

③ 本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

④ 同様の手順で「上限調光率」を 80%、「下限調光率」を 20%に設定します。

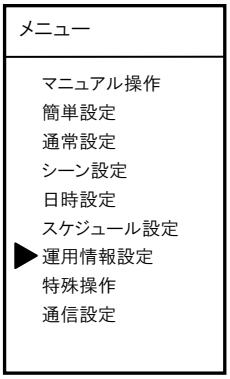
⑤ 過剰な太陽光が入射する場合、コントローラが明るいと判断し、調光率を下げすぎて暗くなる為、下限調光率のリミッターを設定ください。逆に、壁スイッチにより部分的に照明器具が消灯された場合、コントローラが暗いと判断し、調光率を上げすぎて明るくなる為、上限調光率のリミッターを設定ください。

＊通常設定画面で、 受信 ボタンを操作すると、現在の設定値が確認できます。

２６ 消灯制御の設定

LZA-92087 / LZA-92088 応用

25 照度一定制御運転の下限調光率の設定で下限調光率を 0%に設定すると、昼間明るいときに照明器具を消灯させることができます。このとき、昼光量の変化で照明の点滅を繰り返すのを防ぐため、チャタリング防止設定を行います。消灯制御でチャタリングが発生しない場合は必要ありませんが、頻繁に点滅を繰返す場合は以下の操作を行ってください。(チャタリング設定は出荷時設定 25%ですが点滅を繰り返す場合は数値を上げてください。)



① メニュー画面より△ ▽ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。

② 通常設定画面より △ ▽ボタンで「チャタリング設定」を選択します。

③ チャタリング設定のポップアップ画面が開きます。△ ▽ボタンを操作し、数値を変更し、 決定 ボタンでポップアップ画面を閉じます。

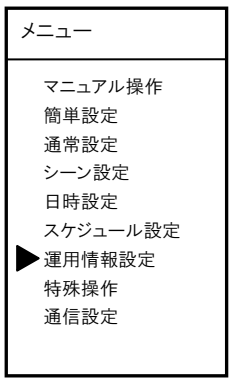
④ 本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

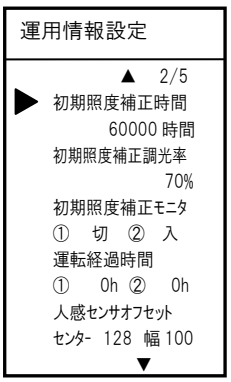
２７ 初期照度補正タイマーの設定

LZA-92087 / LZA-92088 必須

照度センサを「切」にし、経過時間で出力を制御するタイマー制御に関する初期照度補正時間、初期照度補正調光率、運転経過時間、初期照度補正リセットの設定・操作を行います。

（１）初期照度補正時間及び補正開始調光率の設定





使用する LED 照明器具の LED モジュール寿命と光束維持率を確認し、設計照度より下記情報を入力してください。

① メニュー画面より△ ▽ ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。

② 運用情報設定画面より△ ▽ ボタンで「初期照度補正時間」を選択し、ポップアップ画面を開き、「補正時間」を入力します。 決定 ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。

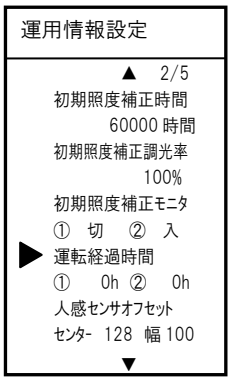
③ 本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

④ 次に「初期照度補正調光率」を選択し、ポップアップ画面を開き、「補正調光率」を入力します。 決定 ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。

⑤ 本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

＊「初期照度補正時間」または「初期照度補正調光率」を選択し、 受信 ボタンを操作すると、現在の設定値が確認できます。

（2）初期照度補正の運転時間のモニタ



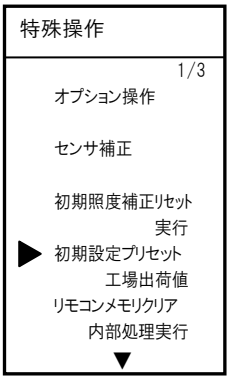
リモコンから初期照度補正機能の運転時間を確認できます。

① 運用情報設定画面より ボタンで「運転経過時間」を選択します。

② 本機をコントローラに向けて 受信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り回路 1、回路 2 の運転経過時間がモニタできます。

送信 ボタンを押すと、表示された経過時間がコントローラに書き込まれますので注意ください。

（3）初期照度補正の運転時間のリセット



リモコンから初期照度補正機能の運転時間をリセットできます。照明器具または、LED モジュールの交換を行った際に実施ください。

① メニュー画面より ボタンを操作し、「特殊操作」を選択します。

② 殊操作画面より ボタンで「初期照度補正リセット」を選択し、ポップアップ画面を開き、「はい／いいえ」を選択します。

③ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴りリセットが完了します。

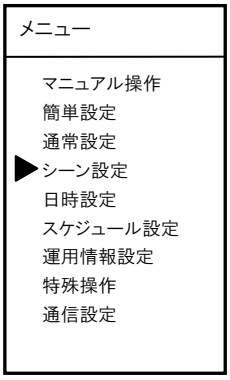
２８ シーンの設定

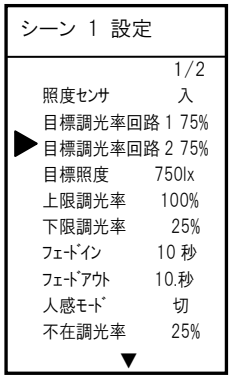
LZA-92087 / LZA-92088 必須

シーンボタンの操作、外部接点信号の入力、またはスケジュールで再現される明るさを設定します。

シーンボタンの操作およびスケジュールでは、シーン 1～6 の 6 つのシーンが再現できます。接点入力では、接点 1＝閉でシーン 1、接点 2＝閉でシーン 2 が実行されます。接点出力では、シーン 1 実行で接点 1 が閉、シーン 2 実行で接点 2 が閉になります。

照度センサの「入/切」、上限・下限調光率、目標照度、本シーンへ移行時のフェード時間、人感モード、不在調光率、不在フェード、保持時間、OFF ディレー時間、色温度を、通常モードと同様、6 つのシーンにおいてそれぞれ独立に設定できます。





① メニュー画面より ボタンを操作し、「シーン設定」を選択します。

② シーン設定画面で、 切替 ボタンを操作すると、シーン 1→2→3→4→5→6→1 と切替わります。

③ 設定したい内容を ボタンを操作し選択します。
以降は、ここで、「目標調光率」を選択した際の操作です。

④「目標調光率」を選択し、ポップアップ画面を開き調光率を選択し、 決定 ボタンでポップアップ画面を閉じます。

⑤ 本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

注意：プロジェクターなど外乱光により影響を受ける場合は、照度センサ「切」を設定ください。

２９　登録されたシーンを再現

LZA-92087 / LZA-92088　必須

```
シーン 1 運転中

2013 年 9 月 21 日
20 時 39 分 ●

シーン　1
回路　　1

調光率
--%
```

28 シーンの設定　であらかじめ設定したシーンを、簡単な操作で再現することができます。

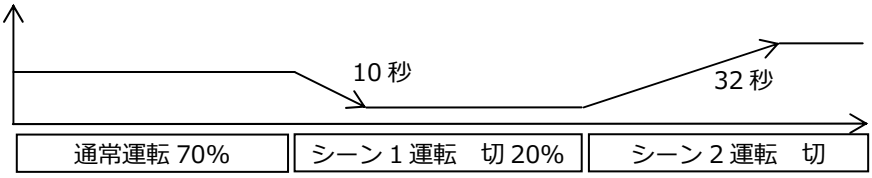
① 左記の操作画面より、切替ボタンを操作し実行したいシーン番号を選択します。シーン1→2→3→4→5→6→1と切替わります。

② 本機をコントローラに向けて実行ボタンを操作します。
実行ボタンをダブルクリックすると設定された、フェード時間がキャンセルされシーンが実行されます。

３０　フェード時間の設定

LZA-92087 / LZA-92088　必須

通常およびシーン1～6の、7つのモードに移行するときの調光率の変化スピードをフェードインおよびフェードアウトで設定できます。100%変化するのに要する時間を設定します。設定範囲は、0秒～255秒となります。




```
メニュー

マニュアル操作
簡単設定
▶通常設定
シーン設定
日時設定
スケジュール設定
運用情報設定
特殊操作
通信設定
```

```
通常設定

                1/2
照度センサ          入
目標調光率回路 1  70%
目標調光率回路 2  70%
▶目標照度        750lx
上限調光率       100%
下限調光率        25%
フェードイン      10 秒
フェードアウト    10 秒
人感モード         切
不在調光率        25%
▼
```

```
シーン 1 設定

                1/2
▶照度センサ         入
目標調光率回路 1 20%
目標調光率回路 2 20%
目標照度        750lx
上限調光率       100%
下限調光率        25%
ﾌｪｰﾄﾞｲﾝ          20 秒
ﾌｪｰﾄﾞｱｳﾄ         20.秒
人感ﾓｰﾄﾞ           切
不在調光率        25%
▼
```

```
シーン 2 設定

                1/2
照度ｾﾝｻ             切
目標調光率回路 1 100%
▶目標調光率回路 2 100%
目標照度        750lx
上限調光率       100%
下限調光率        25%
ﾌｪｰﾄﾞｲﾝ          45 秒
ﾌｪｰﾄﾞｱｳﾄ         45.秒
人感ﾓｰﾄﾞ           切
不在調光率        25%
▼
```

① メニュー画面より△▽ボタンを操作し、「通常設定」を選択します。

② 通常設定画面で、目標調光率「70%」、照度センサ「切」に設定します。

③ 本機をコントローラに向けて、目標調光率「70%」、照度センサ「切」の欄で送信ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了です。

④ シーン1設定画面で、目標調光率「20%」、照度センサ「切」フェードイン・アウト「20秒」に設定します。

⑤ 本機をコントローラに向けて、目標調光率、照度センサ、フェードイン、フェードアウトの欄で送信ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

⑥ シーン1設定画面で、切替を操作し、シーン1を表示させます。

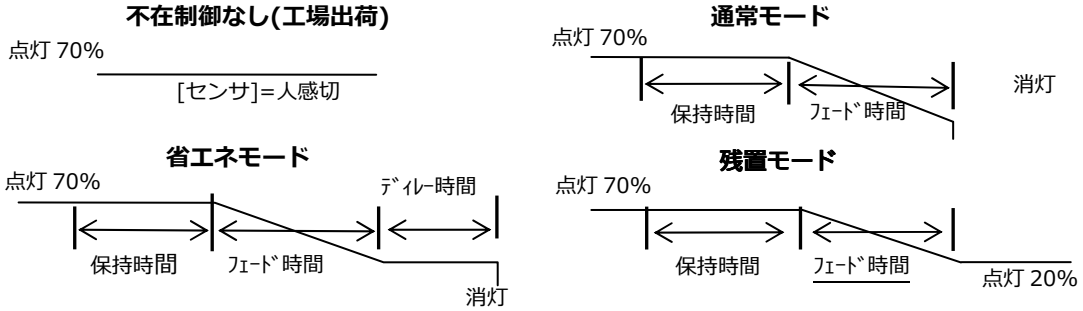
⑦ シーン2設定画面で、目標調光率「100%」、照度センサ「切」フェードイン・アウト「40秒」に設定します。

⑧ 本機をコントローラに向けて、目標調光率、照度センサ、フェードイン、フェードアウトの欄で送信ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り、設定が完了します。

＊通常設定画面で、受信ボタンを操作すると、現在の設定値が確認できます。

３１ 不在制御の設定

人の不在時（人感センサが人を検知しなくなった時）の動作は、設定により下の図に示すように４つのパターンの何れかで運転することができます。また、人の不在を検知した後も明るさを保持する「保持時間」、保持時間経過後の「不在フェード時間」、「不在調光率」、消灯するまでの時間「OFF ディレー時間」を設定することができます。



（１）人感センサ情報の設定

通常設定

1/2
照度センサ 入
目標調光率回路１ 50%
目標調光率回路２ 50%
目標照度 500lx
上限調光率 71%
下限調光率 25%
フェードイン 10 秒
フェードアウト 10 秒
▶人感モード 切
不在調光率 25%
▼

通常設定

2/2
▲
保持時間 300 秒
▶不在フェード 10 秒
OFF ﾃﾞｨﾚｰ 0 秒
色温度 5000K

ここでは、通常設定における省エネモードで不在調光率「10%」、保持時間「60 秒」、不在フェード時間「60 秒」、OFF ディレー時間「120 秒」の場合の設定について説明します。

① メニュー画面より、△▽ボタンを操作し、「通常設定」を選択します。

② 通常設定画面より、「人感モード」を選択し、ポップアップ画面で「省エネ」を選択し 決定 ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。
本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

③ 通常設定画面より、「不在調光率」を選択し、ポップアップ画面で「10%」を選択し 決定 ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。
本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

④ 通常設定画面より、「保持時間」を選択し、ポップアップ画面で「60 秒」を選択し 決定 ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。
本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

⑤ 通常設定画面より、「不在フェード」を選択し、ポップアップ画面で「60 秒」を選択し 決定 ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。
本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

⑥ 通常設定画面より、「OFF ディレー」を選択し、ポップアップ画面で「120 秒」を選択し 決定 ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。
本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

＊ 通常設定画面で、 受信 ボタンを操作すると、現在の設定値が確認できます。

（２）人感センサの検知レベルの設定

運用情報設定

▲ 2/5
初期照度補正時間
60000 時間
初期照度補正調光率
100%
初期照度補正ﾓﾆﾀ
① 切 ② 入
▶ 運転経過時間
① 0h ② 0h
人感ｾﾝｻｵﾌｾｯﾄ
ｾﾝﾀｰ 128 幅 100
▼

人感センサオフセット
センター 幅
▲
128 100
▼

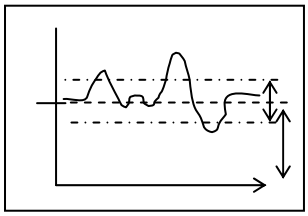
ここでは、人感センサの検知感度を設定します。人感センサの動作が過敏な場合や鈍い場合に実施ください。

① 運用情報設定画面より「人感センサオフセット」を選択し、 決定 ボタンを操作し、「人感センサオフセット」のポップアップ画面を開きます。

② ポップアップ画面で「センター」を選択し、数値を入力し、 決定 ボタンを操作しポップアップ画面を閉じます。
センターの出荷時設定は「128」になります。

③ 次に「幅」を選択し、数値を入力し、 決定 ボタンを操作しポップアップ画面を閉じます。
幅の出荷時設定は「100」になります。
検知範囲は、信号に対する閾値になります。

④ 本機をコントローラに向けて 送信 ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

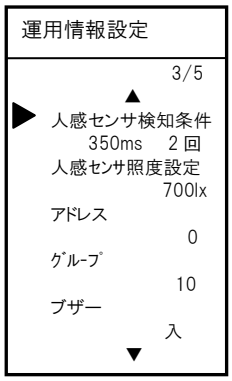


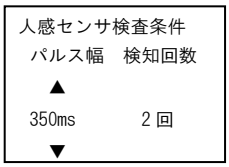
幅 =100

センター=128

人感センサの反応が過敏な時は「幅」を大きくしてください。
鈍い場合は「幅」を小さくしてください。
「センター」は通常変更しません。

（3）人感センサ検知条件情報の設定



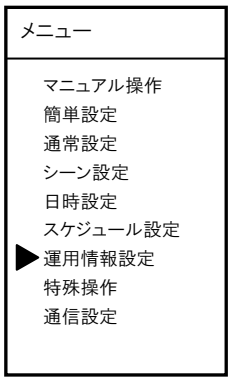


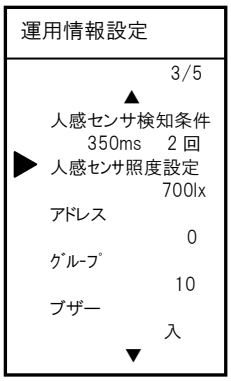
ここでは、人感センサの突発性ノイズ現象による誤動作を防止する設定を行います。
誤動作がある場合は「パルス幅」を大きくする。または、「検知回数」を増やしてください。

① 運用情報設定画面より「人感センサ検知条件」を選択し、決定ボタンを操作し「人感センサ検知条件」のポップアップ画面を開きます。
② ポップアップ画面で「パルス幅」を選択し、数値を入力します。
パルス幅の出荷時設定は「350ms」になります。
③ 次に▷ボタン操作で「検知回数」に移動し、数値を入力し、決定ボタンを操作しポップアップ画面を閉じます。
検知回数の出荷時設定は、「2 回」になります。
④ 本機をコントローラに向けて送信ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。
突発性ノイズ現象による誤動作は、1 日数回発生する事がありますが、保持時間経過により不在制御後に消灯するので、反応を優先する場合は、パルス幅 50ms、検知回数 1 回に設定ください。

３２　昼間在検知で点灯しない設定

LZA-92088　応用

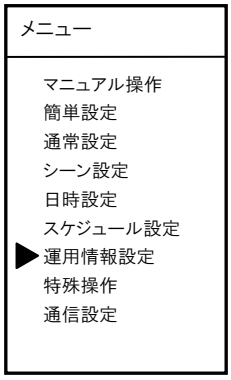




人感センサが人を検知しても、昼間明るいときは点灯しないように設定できます。
① メニュー画面より、△▽ ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。
② 運用情報設定画面より、「人感センサ照度設定」を選択し、ポップアップ画面で「明るさ」を設定します。
明るさは、0～5000lx まで設定可能です。0lx は「切」となります。
決定ボタンを押し、ポップアップ画面を閉じます。
③ 本機をコントローラに向けて送信ボタンを押すと、コントローラが「ピッ」と鳴り設定が完了します。

３３　接点入力でシーンを再現する

LZA-92087 / LZA-92088　応用



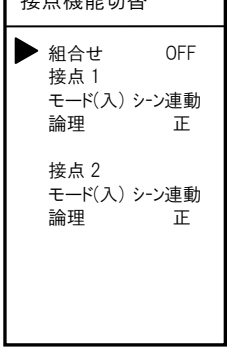
無電圧接点の開閉信号を入力し、あらかじめ設定した調光シーンを自動的に再現することができます。動作モードとして、接点 1 および 2 を組合わせてシーンを実行する「組合せモード」と接点 1 および 2 がそれぞれ独立して動作する「個別モード」があります。接点 1 の入力が閉でシーン 1、接点 2 の入力が閉でシーン 2 を再現します。
（工場出荷時の設定では、個別モードの機能になっています。）
① メニュー画面より、△▽ ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。
② 運用情報設定画面で「接点機能切替」を選択し、接点機能切替のサブ画面を開きます。
以下、接点 1 と接点 2 を入力のシーン連動に設定する手順を示します。

（1）組合せ設定の場合

接点 1	接点 2	制御
OFF	OFF	通常
ON	OFF	ｼｰﾝ 1
OFF	ON	ｼｰﾝ 2
ON	ON	ｼｰﾝ 3

① 組合せを「ON」に設定します。
② 接点を「入力」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。
（接点閉で正）
④ 本機をコントローラに向けて決定ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

（2）個別設定の場合

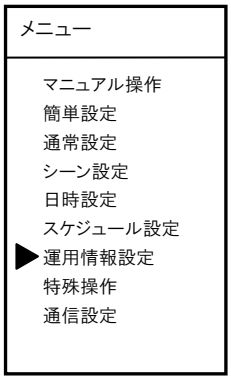


① 組合せを「OFF」に設定します。
② 接点 1 を「(入) シーン連動」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。
（接点閉で正）
④ 接点 2 を「(入) シーン連動」に設定します
論理を「正」に設定します。
（接点閉で正）
⑤ 本機をコントローラに向けて決定ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

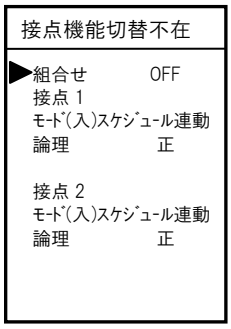
３４ 接点入力でスケジュールを動作させる

LZA-92087 / LZA-92088 応用

無電圧接点の開閉信号を入力し、スケジュール機能を実行、停止することができます。
接点１または接点２に割付ができます。



① メニュー画面より、△▽ ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。
⑥ 運用情報設定画面で「接点機能切替」を選択し、接点機能切替のサブ画面を開きます。



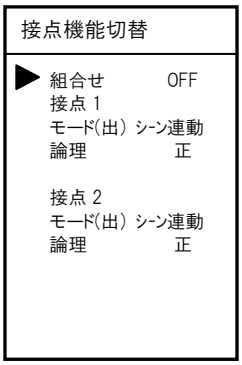
以下、接点１にスケジュール連動を設定する手順を示す。
① 組合せを「OFF」に設定します。
② 接点１、２を「（入）スケジュール連動」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。（接点閉で正）
④ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

（１）組合せ設定の場合（組合せモード）

接点 1	接点 2	制御
OFF	OFF	通常
ON	OFF	ｼｰﾝ 1
OFF	ON	ｼｰﾝ 2
ON	ON	ｼｰﾝ 3

① 組合せを「ON」に設定します。
② 接点を「出力」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。（接点閉で正）
④ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

（２）個別設定の場合（単独モード）

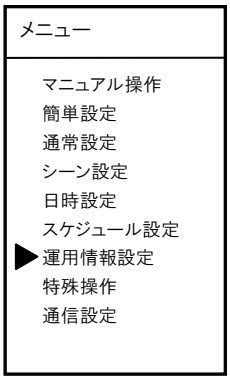


① 組合せを「OFF」に設定します。
② 接点１を「(出) シーン連動」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。（接点閉で正）
④ 接点２を「(出) シーン連動」に設定します。論理を「正」に設定します。（接点閉で正）
⑤ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

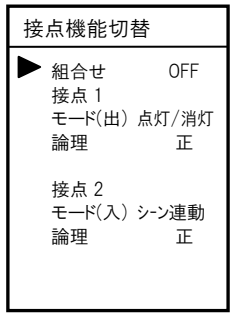
３５ 消灯／点灯状態を接点出力する

LZA-92087 / LZA-92088 応用

コントローラの調光信号出力による消灯／点灯状態を、接点１および接点２端子に無電圧信号で出力させることができます。接点１・２共に、**消灯のとき：開、点灯のとき：閉** です。



① メニュー画面より、△▽ ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。
② 運用情報設定画面で「接点機能切替」を選択し、接点機能切替のサブ画面を開きます。

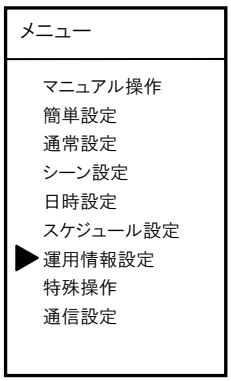


以下、接点１に消灯/点灯連動を設定する手順を示します。
① 組合せを「OFF」に設定します。
② 接点１を「（出）点灯/消灯」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。（接点閉で正）
④ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

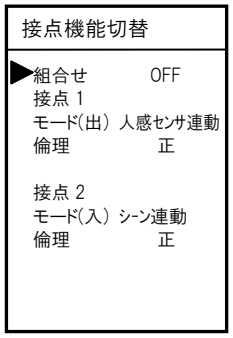
３６ 在／不在状態を接点出力する

LZA-92088 応用

人感センサタイプコントローラの在／不在状態を、接点１および接点２端子に無電圧信号で出力させることができます。
接点１・２共に、**不在のとき（人感センサが不在検知し保持時間経過後）：開、在のとき：閉** です。



① メニュー画面より、△▽ ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。
② 運用情報設定画面で「接点機能切替」を選択し、接点機能切替のサブ画面を開きます。

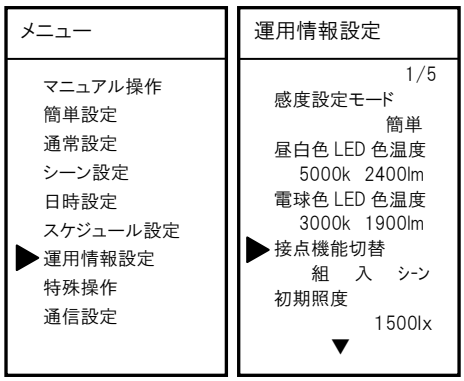


以下、接点１に在/不在連動を設定する手順を示します。
① 組合せを「OFF」に設定します。
② 接点１を「(出) 人感センサ連動」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。（接点閉で正）
④ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。
(弱電信号出力なので換気扇等の電源を直接 ON/OFF することはできません。リレー等を使用ください。)

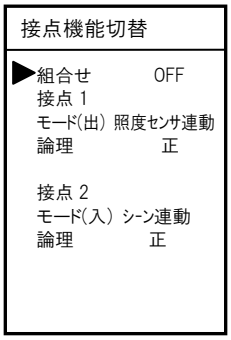
３７　明／暗状態を接点出力する

LZA-92087 / LZA-92088　応用

照度センサが検知する明／暗状態を、接点１および接点２端子に無電圧信号で出力させることができます。



① メニュー画面より、△▽ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。
② 運用情報設定画面で「接点機能切替」を選択し、接点機能切替のサブ画面を開きます。

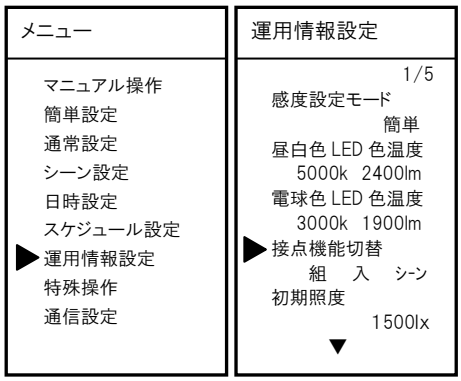


以下、接点１に明／暗連動を設定する手順を示します。
① 組合せを「OFF」に設定します。
② 接点１を「(出) 照度センサ連動」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。(接点閉で正)
④ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

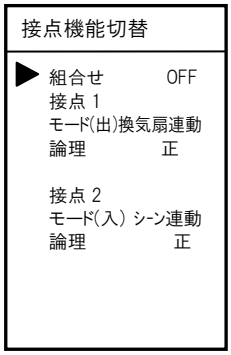
３８　換気扇連動制御を接点出力する

LZA-92088 応用

人感センサの不在検知により、換気扇を遅延制御することができます。



① メニュー画面より、△▽ボタンを操作し、「運用情報設定」を選択します。
② 運用情報設定画面で「接点機能切替」を選択し、接点機能切替サブ画面を開きます。

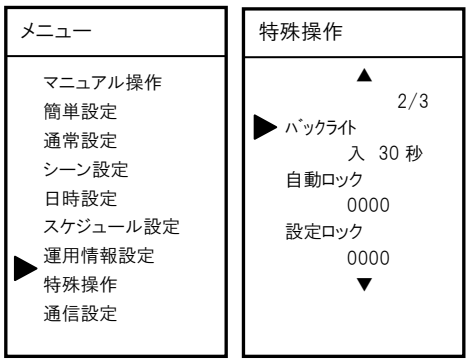


以下、接点１に換気扇連動を設定する手順を示します。
① 組合せを「OFF」に設定します。
② 接点１を「（出）換気扇連動」に設定します。
③ 論理を「正」に設定します。（接点閉で正）
④ 接点１の時間を設定します。
⑤ 本機をコントローラに向けて 決定 ボタンを押し、コントローラが「ピッ」と鳴り、接点の機能が設定されます。

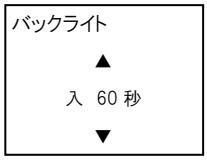
３９　バックライト点灯時間を切替える

リモコン機能

リモコンの電池寿命を延ばす為、バックライトの点灯時間を調整できます。



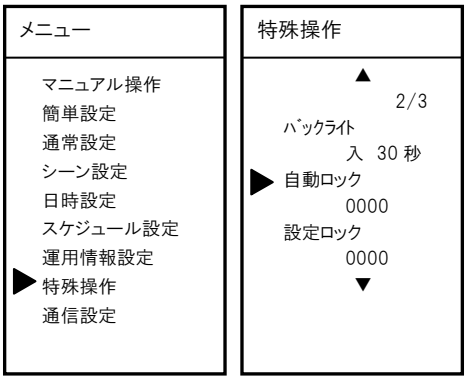
① メニュー画面で▽のカーソルボタンを操作し、「特殊操作」を選択します。
② 殊操作画面で「バックライト」を選択します。
③ 決定 ボタンを押し、バックライト設定のポップアップ画面を開き、「切」「入 10 秒」「入 20 秒」「入 30 秒」「入 60 秒」のいずれかを選択ください。
④ 決定 ボタンを押し、画面を閉じます。
リモコンのバックライトの点灯時間が設定されます。



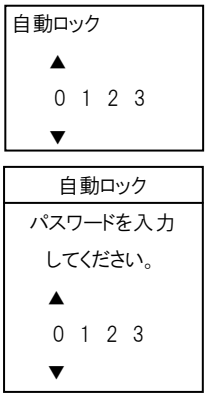
４０　操作・設定機能をロックする

リモコン機能

リモコンの誤操作および誤設定を防止する様、パスワードの設定ができます。ここでは、自動ロックの設定について説明します。



① メニュー画面で▽のカーソルボタンを操作し、「特殊操作」を選択します。
② 特殊操作画面で「自動ロック」に移動します。
③ 決定 ボタンを押し、自動ロック設定のポップアップ画面を開き、４桁の数字を設定ください。
「００００」はパスワード無しとなります。
④ 決定 ボタンを押し、画面を閉じます。
⑤リモコンのスリープ画面からボタン操作する際、パスワードの入力が必要となります。



４１　仕様

項目	内　　容
電源	単三アルカリ電池２本
時刻精度	月差±30 秒
使用温度範囲	0℃～35℃
保存温度	0℃～60℃（アルカリ電池は除く）
質量	210ｇ

４２　保証とアフターサービス

＜無償修理規定＞

1. 保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
2. 無償保証期間および範囲
   - 据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が換を認めたユニットに限ります。
     ただし、3項に記載する損傷や故障については、保証期間中であっても支給、修理は有償となります。
   - 無償保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店に相談してください。
   - 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
   - 修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   (a) 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合。
   (b) 改造した場合。
   (c) 操作方法が不備なことによる事故、損傷や故障の場合。
   (d) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
   (e) 本機事故に起因した営業保証等の２次保証はいたしません。
   (f) その他、据付け、操作、調整、保守、取扱上常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。
4. 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

   This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
   No servicing is available outside of Japan.
5. この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

メモ

購入日　　年　　月　　日

工事店名

電話　(　　)　　－

FAX　(　　)　　－

販売店名

電話　(　　)　　－

FAX　(　　)　　－

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CSセンター　(0570)003-937(ナビダイヤル)

受付時間(月～金曜) 9：00～17：00　土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

大光電機株式会社　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋 3-2-7　高麗橋ビル６Ｆ